

平成30年度

法人運営報告（案）

（運営理念）

「人と人との尊重し合い地域の中で普通に暮らせる
安全で安心な生活を支え自立意識の共生に努める」

（支援理念）

「気遣いや思いやりを大切にし向上心を忘れず
共に出会って良かったと言える人生作りを目指す」

（経営理念）

- ・サービスの向上に努める
- ・人材の育成に努める
- ・地域との交流を深め地域貢献に努める
- ・多様なニーズへのアプローチと情報の共有に努める
- ・計画性のある経営に努める
- ・自立した経営に努める

社会福祉法人 白老宏友会

1. 運営・事業の概要

<p>法人経営と運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員、理事欠員に伴う選考と選任。 ・諸規定の改正（定款、給与、就業規則、表彰及び懲戒、経理、旅費） 新規程（人事考課、正職登用、奨学金返還支援制度、職員紹介定着）の実施。 ・日中支援ニーズ対応による定員外受け入れ継続と、収支安定会計状況。 ・共生型事業の充実と「はあもにい」サロンの一般使用による地域貢献。 ・平成30年度福祉・介護職員処遇改善手当の取得、支給。 ・単位実習生の受け入れ。 ・求人活動（学校訪問、インターンシップ、マイナビ、雑誌他）の実施。 ・職員研修（ネット講座、法人内研修報告・事例発表、外部研修他）実施 ・資格取得（介護福祉士・初任者研修他）のための助成実施。 ・白老町象徴空間「ウボポイ」参画協議。
<p>法人事業と サービス利用状況 (31.3末現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助事業（GH17ヶ所、サテライト3ヶ所） 地域生活支援センター「あぶろ」（定員98名、現数96名） ・多機能型事業所「ポプリ」（定員60名、現数73名） 就労継続B型（定員40名、現数48名）生活介護（定員30名、25名） ・生活介護事業所「みらいえ」（定員40名、50名） ・生活介護事業所「愛泉園」（定員20名、25名） ・短期入所単独型事業所「かのん」（定員3名、延利用数1,028名） ・短期入所併設型事業所「かい」（1名(10ヶ月の長期利用)、利用人数2名） ・特定相談事業所「ゆから」（計画総数267件）
<p>サービス内容状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「あぶろ」 支援センターの拠点確保による支援スタッフの強化を図り、3課体制の充実を図った。 看護師の配置による医療連携を図り、高齢・医療化する実態に合わせた強化を図った。一方で職員の退職頻度が高く支援の定着課題を抱えてきたが配置基準を下回ることなく求人活動や日中支援事業所とのタイアップも含め支援の確保に努めてきた。 短期入所（併設型）においては、居宅の一時、将来入居等を含めた利用を募ったが、親亡き後の緊急利用が入居欠員が出来るまでの長期（10ヶ月前年度から合わせると14ヶ月）利用であった。その後併設のメリットを活用出来るニーズに対応してきた。 ・「ポプリ」 工賃向上の目標を明確にし、商品開発に向けた町内団体との協力や、札幌販売を定着化し、目標工賃の支給を達成する事ができたが、収入面においては前年度の維持が図れた状況であった。 施設の老朽化と就労事業の展望を含め白老駅北商業ゾーンへの参入を企画してきたが、白老町との協議の隔たりがあり計画からの撤退となった。 ・「愛泉園」 利用者ニーズに対応すべく、個別支援の充実を目指し施設内外の環境を整備し、アイヌ文様バッチの生産販売は着実に成果を上げている。 また、野外プログラムとして畑作生産の拡充を図り利用者の特性を活かせる環境づくりを図り工賃の確保に努めた。 ・「みらいえ」 野外活動の環境確保によりビニールハウスやログハウス建設、芝運動場の確保による自己選択とプログラムの強化を図り、心身共に健康面への配慮をし、工賃の確保や今後の地域との交流の場としても見据えた支援内容を取り組んで行く環境整備を整えた。 ・「ゆから」 相談員のスキルアップを図り、継続サービス利用支援を主に、サービス利用支援への対応もすすめてきた。 ・「かのん」 定員3名の利用が年間通して利用されており、在宅生活の緊急的ニーズを始めとする利用内容が多様化している状況であり、入居施設に切り替えのアプローチと受け入れの模索が課題とされる。

2. 平成30年度 評議員会、理事会、評議員選任・解任委員会開催状況

〔評議員会〕

開催年月日	報告・議案
定時評議員会 (H30.6.14)	報告第1号 内部監査報告 報告第2号 法人事業計画案 報告第3号 30年度予算及び第1次補正予算 議案第1号 平成29年度法人事業報告案 議案第2号 平成29年度法人決算報告案 議案第3号 理事欠員補充確認 議案第4号 規程改正

〔理事会〕

開催年月日	報告・議案
第1回 理事会 (H30.5.29)	報告第1号 前回理事会以降の法人・各事業所の動向 報告第2号 内部監査報告 議案第1号 規程改正案 議案第2号 平成29年度法人事業報告案 議案第3号 平成29年度法人決算報告案 議案第4号 平成30年度第1次補正予算案 議案第5号 役員(理事)の欠員選任案 議案第6号 平成29年度定時評議員会の招集
第2回 理事会 (H30.9.12)	報告第1号 前回理事会以降の法人・各事業所の動向 報告第2号 理事長・業務執行理事の業務執行報告 報告第3号 内部監査報告 議案第1号 規程改正 議案第2号 平成30年度第2次補正予算案 議案第3号 評議員欠員選任案
第3回 理事会 (H30.12.19)	報告第1号 前回理事会以降の法人・各事業所の動向 報告第2号 内部監査報告 報告第3号 理事研修報告 報告第4号 防災委員会報告 報告第5号 新卒者採用状況、正規職員登用 議案第1号 規程改正 議案第2号 平成30年度3次補正予算案 議案第3号 施設長選任
第4回 理事会 (H31.3.20)	報告第1号 前回理事会以降の法人・各事業所の動向 報告第2号 理事長・業務執行理事の業務執行報告 報告第3号 内部監査報告 議案第1号 規程改正 議案第2号 平成30年度第4次補正予算案 議案第3号 2019年度事業計画 議案第4号 2019年度予算案 議案第5号 評議員選任・解任委員欠員選出

〔評議員選任・解任委員会〕

開催年月日	報告・議案
第1回 委員会 (H30.9.12)	評議委員欠員報告、選任承認

3. 平成30年度 内部監査開催状況

開催年月日	監査内容
第1回 (H30.5.22)	平成29年度の理事職務執行、事業報告決算内容 (吉田・煤孫監事)
第2回 (H30.8.29)	平成30年4月～6月の事業実施、計算書類及び補助簿 (吉田・煤孫監事)
第3回 (H30.12.11)	平成30年7月～9月の事業実施、計算書類及び補助簿 (吉田・煤孫監事)
第4回 (H31.3.11)	平成30年10月～12月の事業実施、計算書類及び補助簿 (吉田・煤孫監事)

4. 外部監査、内部監査、評議員会、理事会開催状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
外部監査		2.3月 (4/27.28)		4.5月 (7/26.27)		5.6月 (9/20.21)
内部監査		1.3月 (5/22)			4.6月 (8/29)	
評議員会			定時 (6/14)			
理事会		第1回 (5/29)				第2回 (9/12)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外部監査		8.9月 (11/21.22)		10.12月 (1/28.29)		12.1月 (3/22.25)
内部監査			7.9月 (12/11)			10.12月 (3/12)
評議員会						
理事会			第3回 (12/19)			第4回 (3/20)

5. 平成30年度 役員研修実績内容

開催年月日	研修内容	研修参加者
H29.7.3	平成30年度 社会福祉法人経営者セミナー(前期) ・社会福祉法人制度改革を踏まえて ・指導監査ガイドライン改正のポイント	茂木理事長 北平常務理事
H30.9.12	北海道の社会福祉法人における地域公益活動の取り組み ※理事会において全理事に資料配布し、報告と説明を行い理事研修とする。	全役員対象
H30.9.26	事業所と市町村セミナー ・障害活躍と地域共生 ・生涯活躍のまちの取り組み状況	北平常務理事 星理事 土門理事
H31.2.14	平成30年度社会福祉法人経営労務管理セミナー(後期) ・社会福祉法人経営に何が求められるか ・災害に備えて取り組むべきこと ※ H31.3.20 開催の理事会において全理事に資料配布し、報告と説明を行い理事研修とする。	茂木理事長

6. 平成30年度 法人研修

〔職員研修会〕

開催年月日	研修内容
研修報告会 (H30.11.17)	①「愛泉園」 ・重症心身障がい児（者）通園施設視察（旭川療育園） ・3障害合築の通所施設視察（旭川あかしあ労働福祉センター） ・農作業活動実践視察から（青森待望園、森の菜園・たっこ） ②「ポプリ」 ・摂食及び嚥下に関する基礎研修 ③「あぶろ」 ・行動援護従事者養成研修 ④「みらいえ」 ・浦河べてるの家の精神障害者への実践視察 ⑤障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座
事例実践報告会 (H31.2.16)	①「社会性を培うための日中支援活動支援の取り組み」 ②「姿勢改善に向けた評価とアプローチ」 ③個別ケース「本人の要望と特性を踏まえた支援の視点」 ④「GHかい入居者G・さんの支援経過」

〔人事労務研修－幹部職員研修〕

開催年月日	研修内容
第1回 (H30.8.8)	モチベーションを上げ、やりがいを持たせる人事評価とは
第2回 (H30.8.30)	トラブルを防止し、職員が生き生きと働ける職場作り

〔キャリアパス支援研修（平成30年度 介護従事者確保総合推進事業）－リーダー職〕

開催年月日	研修内容
第1回 (H30.9.18)	福祉職のための接遇マナー
第2回 (H30.10.25)	トラブルを予防し、職員が生き生きと働ける職場作り
第3回 (H30.11.20)	持ち味を活かせる職場づくり

(社会福祉法人天寿会からもユニット構成施設として職員参加)

7. 評議員、理事名簿

評議員			理事		
役職	氏名	就任月日	役職	氏名	就任月日
評議員	大屋 正義	H29.6.1	理事長	茂木 静	H29.6.15
評議員	松岡 勝昭	H29.6.1	常務理事	北平 保	H29.6.15
評議員	藤本 直司	H29.6.1	理事	鈴木 靖男	H29.6.15
評議員	大高 宏雄	H29.6.1	理事	西 幹雄	H29.6.15
評議員	中谷 通恵	H30.9.12	理事	星 貢	H29.6.15
評議員	田上 ミドリ	H29.6.1	理事	宮澤 仁	H30.5.29
評議員	高橋 郁子	H29.6.1	理事	土門 誠	H29.6.15
評議員	五十嵐 省蔵	H29.6.1	監事	吉田 稔	H29.6.15
			監事	煤 孫正美	H29.6.15

8. 法人経営に関すること

- ①社会福祉法改正への対応（役職員等への研修）
- ②諸規定の改正（運営、就業、給与、新設規程）
- ③法人経営の組織充実を図り健全経営に努めた。
定時評議員（1回）、理事会（4回）、内部監査（4回）の実施。
- ④外部監査の実施（外部委託年6回）
- ⑤日中支援事業所・GH支援事業所の利用減数維持による安定収支会計。
- ⑥居宅ニーズ対応による短期入所事業（単独・併設）の利用充実。
- ⑦共生型事業の充実と「はあもにい」内のサロンの一般使用による地域貢献。
- ⑧平成30年度福祉・介護職員処遇改善手当の取得、支給

9. サービス事業内容に関すること

- ①就労継続B型事業所「ポプリ」
 - ・工賃向上計画のもと、商品開発、販路拡大、技術向上、地域経済との協力関係を保ち、利用者工賃の確保と消費ニーズに応えるべく地域への貢献に努めた。
 - ・施設外就労として、町清掃委託とフォーレ白老のきのこ栽培を実施した。
- ②生活介護事業所（ポプリ、みらいえ、愛泉園）
 - ・重度障害者のサービス利用ニーズに応えるとともに、各事業所の環境にあったプログラムの構築によって、創作活動や生産活動、健康の保持のための医療対応など個別支援の充実を図ってきた。
 - ・「みらいえ」に於いては野外活動の場として土地の取得により栽培ハウスや休憩所用ログハウスの建設、野外遊戯場の整備など充実を図った。
- ③共同生活援助事業所「あぶろ」
 - ・夜間支援体制の充実を図るために、労務管理上のシフト体制を研鑽し支援の効率を図り、職員の確保にも努めてきた。
また、世話人対応型から高齢、重度、医療支援の必要性から転居対応や、消防法の改正による設置基準を満たすべく対応、老朽化GHへの対策として、住まいの修繕や改修を行い安全・安心の対応に着手した。
- ④短期入所事業所（単独型「かのん」、併設型「かい」）
 - ・居宅ニーズや将来ニーズ等に応え、年間を通しての終日利用の実態であった。
- ⑤特定相談支援事業所（ゆから）
 - ・白老町との連携のもと、計画通りの相談件数に対応してきた。

10. 委員会に関すること

職員の人材確保、育成のための研修充実や、法制度の改正に伴うコンプライアンスの充実を図るために、以下の委員会体制を取り組んできた。

- ① 研修委員会～法人内研修、助成研修等を本部機能として実施。
- ② 虐待防止委員会～施設長会議と併行して実施。
- ③ 法定委員会～施設長会議と併行して実施。
- ④ 苦情解決委員会～施設長会議と併行して実施。
- ⑤ 防火・防災委員会～規程の内容で実施。

11. 施設等整備に関すること

①生活介護事業所「愛泉園」

- ・生産活動における独自企画文様のバッジ等生産、販売の機材整備
- ・「和多志の家」の整備
- ・施設の補修と野外活動のための畑作用地の整備

②生活介護事業所「みらいえ」

- ・野外活動土地取得の整備

(ハウス設置、ログハウス建設、井戸の設置)

③多機能型事業所「ポプリ」

- ・生活介護事業の野外活動広場の整備

④共同生活援助事業所

- ・利用者ニーズに対応した GH 住居の賃貸契約

12. 施設実習生の受入れに関すること

各学校の単位実習の趣旨に添い、積極的に受け入れを実施した

- ・北海道医療大学－1名(30.5/7～6/8)
- ・経専北海道保育専門学校－4名(H30.7/17～7/31)
- ・北海道医療大学－1名(H30.8/6～8/7)
- ・北斗文化学園－1名(H30.12/3～12/13)